

トピックス

21年度決算、事業報告などを原案通り可決、承認

国保連合会通常総会



本会通常総会は、8月5日（木）、国保連合会に37保険者の代表が出席して開かれ、平成21年度事業報告、一般会計、各特別会計歳入歳出決算ほか諸議案を原案通り可決、承認した。

栗山正・理事長（亀岡市長）は、挨拶の中で「平成21年度事業は、事業計画に基づきおおむねの目的を達成することができた」として、府や各保険者の協力に感謝した。また、政権交代により国保を取り巻く状況が大きく変化しようとする中で、出産育児一時金・新型インフルエンザの支払業務といった21年度新規事業について円滑な事業運営を行ったことを報告した。

山口寛土府高齢社会対策監の挨拶のあと議事に入り、議長に寺尾豊爾京丹波町長を選出した。議事録署名人には真鍋宗平大山崎町長と森清美酒販国保組合理事長を選任した。

議案は、平成21年度報告承認事項5件、同年度報告事項1件、さらに平成22年度議決事項11件、同年度報告承認事項2件、同年度報告事項2件で、事務局の説明、監査結果報告のあと、いずれも原案通り可決、承認した。閉会挨拶は田村康浩副理事長（芸術家国保組合理事長）が行った。

